

2月のクラフトサークルの定例会は花炭をつくりました。

下記の写真モノクロではありません。

左はアメリカフウ、椿の実のはじけた後のメタセコイヤなどの木の実。右はギンナンやカボチャの種のようにです。



これは唐辛子を炭にして以前サークルでも作ったマクラメ編みの布に飾っています。花瓶に挿しても素敵ですね。花炭は素材をそのままの形で炭化させたものです。

花炭は、五百年もの昔から、茶の湯などの茶室などで菊炭と共に使用され、飾り物としても使われていたようです。飾り炭や花炭の活性効果は、他の炭ほどではありませんが、インテリア等にもなります。私も玄関やトイレに籠に入れて置いています。



花炭作りは甘樫丘にある炭焼き小屋の前に穴を掘り、鉄パイプで作った格子に、材料を詰めて並べて、下から火であぶります。もちろん消防署に届けて実施しています。

缶の中には右のような材料をアルミホイルでふんわり包みます。そして底に粃殻を敷いてその上にアルミホイルで包んだ材料を並べます。

缶の蓋にいくつかの穴を開けてあるので、その穴からの煙が白から無色に近くなるとできあがりです。

注意しないと缶の蓋が緩くて空気が入り中で燃えだしたりします。缶を針金でくくるのも蓋がうかないようにするのと、火からおろす時に持ち上げやすくするためです。



もういいかなと缶の蓋を開ける人が出てきました。



煙が出ているけど開けて大丈夫？

早く開けすぎると酸素に触れて火がついて燃えます。

それと開けるときの注意

あの唐辛子を材料にした人は缶の蓋を開けたときの煙に咳き込んでいました。唐辛子の煙はきつかったようです。

もう大丈夫と広げた作品から火が出ることもあります。

よく気をつけて

ウバユリの実ですが左はまだ早かった。右は炭になっていたけどアルミホイルを剥がすときに失敗したようです。ふんわり包んで、そっと剥がしてね



この人は底に籾殻の代わりに木の板をしいたようです。





いろいろな木の実が炭になってきました。

左の竹はアルミホイルで包んで直に火のそばで炭化させていました。

残念ながら火がついたので土をかぶせて火を消していたらそばを歩いた人に踏まれて折れちゃいました。

右のも竹ですが細くてカットしたものをホイルに包み缶で作成したものです。節がいい感じですよ。



左の写真は松ぼっくりやタイワンフウ。右の丸い二つはこの写真ではよくわかりませんが蓮の実です。

右の写真は昨年のもので。これなら蓮のみだとわかりますね。



せっかく火があるのでサツマイモを濡らした新聞とアルミホイルに包んで火のそばに置きました。美味しかったです。

お昼のお弁当、もういないかと言う人もいました。



色んな作品ができ皆さん品評会



このユサンやヒマラヤスギはお花のようです。



ぐい飲みのような竹の作品にはそばの草を入れて可愛くなりました。



今年は19名の参加で楽しく定例会を開催できました。
花炭を来年度は実施しませんがまた実施したいですね。

このように飛鳥里山クラブのクラフトサークルでは様々な活動で明日香に来られる方への
作品作りのお手伝いもしています。
このほかにも様々な活動を実施しているボランティアの団体です。
興味のある方は下記へ。

一年間11回の講座修了後活動に参加していただきます。

飛鳥里山クラブの募集とお問合わせ先について

クラブ員は毎年2月頃、新規募集を受け付けています。

今年も4月15日まで募集しています。

ご興味ある方はご案内をお送りしますので、下記までご連絡ください。

国営飛鳥歴史公園・飛鳥里山クラブ事務局

〒634-0144 奈良県高市郡明日香村大字平田 538

TEL : 0744-54-2441 FAX : 0744-54-46333